

空き家の所有者と利活用希望者が結びつくように、空き家バンク制度を創設。

空き家バンク（2020年12月～） 方向性3⑧

- 【目的】・市内の空き家の流通、定住促進
 ・管理不全な空き家の発生の未然防止
 ・市内の不動産関連団体と連携することで、空き家の新たな需要を開拓

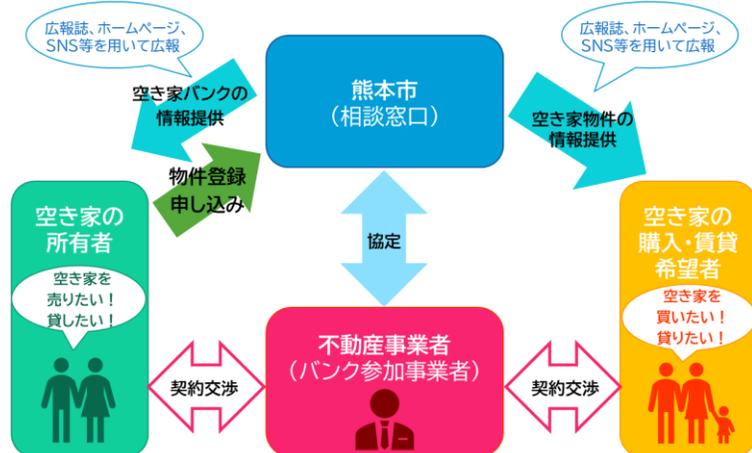
①事業概要

空き家の賃貸・売買を希望する所有者と、空き家の活用を希望する方や移住者をマッチングさせ、空き家の流通を促進するための制度。

賃貸・購入希望者に対して、熊本市ホームページ上で空き家バンク登録物件情報を提供する。併せて全国版空き家バンクへの転載及び熊本市公式移住情報サイトにリンクを貼付する予定。

◆連携先：不動産団体、都市政策課、住宅政策課、経済政策課

制度イメージ図



②現在の進捗状況

2020年12月14日に不動産団体4団体と空き家バンクの協定締結予定。

③今後の予定

空き家バンクへの参加事業者（宅建業者）、登録希望者（空き家所有者）を2020年度中に募集開始。

2021年度から、空き家バンクに登録された空き家物件について、市民に情報提供開始予定。

○空き家バンクのスケジュール

取り組み	2020年度	2021年度
バンクの参加事業者募集	12月頃～	実施
バンク登録希望者募集	1月頃～	実施
市民に空家情報提供		実施



空き家バンク（制度創設後の連携・展開予定について）

空き家バンク制度を設立後、どのような展開を予定しているか。

空き家バンク（2020年12月～）

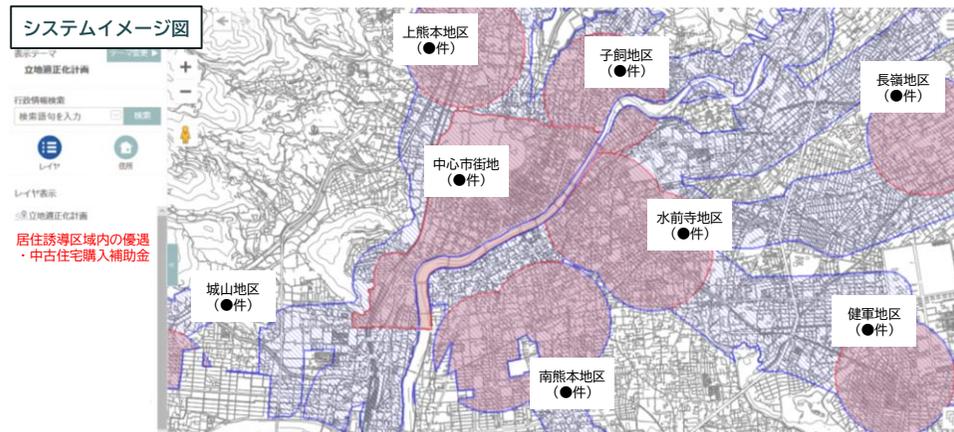
方向性3⑧

④今後の連携・展開予定について

◆都市政策課

「熊本市地図情報サービス」を活用したバンク登録物件情報の発信
今回、既存のメニューの中に新たに「**空き家バンク**」のメニューを創設。
背景地図として地形図やGoogleマップを利用できるほか、ストリートビュー機能なども利用できるため、マッチングが促進されると思われる。

また、今後、居住誘導区域内への誘導に寄与する情報等も掲載することで、立地適正化計画との連携も図る。



「熊本市地図情報サービス」とは、最新の都市計画図や路線網などの行政情報や公共施設の情報を地図上に表示して閲覧することができるシステム。背景地図として地形図やGoogleマップを利用できるほか、ストリートビュー機能なども利用できる。

◆住宅政策課

・住宅政策の取り組みとの連携

「移住者向け中古住宅購入補助金」等を利用される方に空き家バンク登録物件の情報提供する等、空き家バンクと絡めた取り組みを行う。

◆経済政策課

・移住政策の取り組みとの連携

「熊本市公式移住情報サイト 熊本はどう？」に空き家バンクのリンクを掲載することで、移住希望者に対して、空き家バンク登録物件情報を提供する取り組みを行う。



「熊本はどう?」とは、UIターンを希望される方に向けた情報サイト。熊本市への移住に役立つお仕事・住まいの情報や、暮らしに関する各種支援情報、実際に県外から移住した「移住先輩」のインタビュー記事などを掲載し、市内のスポット情報やイベントレポート、遊びに関する情報なども定期的に更新している。